

東横線地下化跡地 散歩道づくり通信

2003.12.12 編集・発行 / 横浜市都市計画局企画調査課



東横線地下化跡地に整備する緑道について、 沿線の方々による運営管理検討会がスタートしました！

昨年度に引き続き、今年度も検討会がスタートしました。昨年度は跡地利用計画づくりを中心に話し合いを進めて来ましたが、今年度は、緑道の運営管理の内容や仕組みを中心に話し合っていきます。検討会メンバーは、昨年度の検討会から引き続き参加された方が28名、一般公募により新たに参加された方が18名の総勢46名で構成されています。

第1回検討会では、緑道で行いたい活動等を話し合いました。

1月13日午後7時から、「エコライフかながわ」において「第1回東横線地下化跡地緑道運営管理検討会」を開催いたしました。最初に横浜市から緑道計画の概要を説明させていただきました。続いて、緑道の利用や管理について、行いたい活動、一緒に利用したい人、そのために必要なもの等についてグループに分かれて話し合いました。

〜第1回検討会で出された主な意見〜

「緑道で行いたい活動」

世代にかかわらず、多様な人とのコミュニケーションの場としたい。
トンネルなどを使い、住民によるイベントやコンサートをしたい。
専門家による植樹の指導、講習会。
集会、ボランティア活動の打合せ等“活動の拠点”として利用したい。



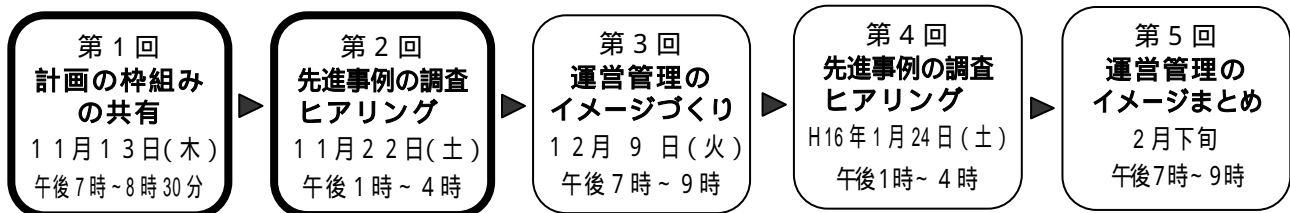
「一緒に利用したい人」

普段知り合えない地域の人とふれあいたい。
ボランティアなどの仲間で利用したい。
小・中・高校・大学とのネットワークで利用運営をしていきたい。

「そのために必要なもの」

活動のための場所（集会所）やサロン等。
利用しやすい仕組み。
運営主体が活動していくための資金・財源（駐輪場の収入、スペースの時間貸し）やスタッフ・コーディネーターが必要。
トンネル等の安全対策。
その他多数のご意見をいただきました。

検討会の流れ



「検討会」でご検討いただいた運営管理の内容やしきみについては、検討会の皆さん、地元自治会・町内会や商店街、横浜市が協働で、実現に向けて調整を進めてまいります。

問合せ先

横浜市都市計画局企画調査課交通担当 中野、大須賀、清水
電話：671-3511 FAX：663-3415

第2回検討会では、事例調査を行いました！

11月22日(土)の「第2回東横線地下化跡地緑道運営管理検討会」では、港北区にある新田緑道をグループごとに視察した後、都筑区にある都筑中央公園に移動し、横浜市からこの公園での活動や運営管理について説明をさせていただきました。他の事例を知ること、「東横線地下化跡地の活動や整備についてのイメージが湧いた。」との意見が聞かれました。

新田緑道

現地を視察してきました。

新田緑道は延長1.7km、幅約10m、面積19,440㎡。昭和61年に用水路を埋めて整備された緑道です。市営地下鉄新羽駅から約3分のところにあります。立地や整備内容は異なりますが、東横線跡地に整備予定の緑道と規模などが類似しています。



運営管理は5つのブロックごとに各々の公園愛護会があり、清掃、草刈りなどを行っています。

~~新田緑道で出された主な意見~~

実際に視察することによって、今後の運営がイメージできて良かった。

寒い季節のせいか、人通りが少なく寂しい印象だった。
維持していくための組織について考えさせられた。

ゴミ、落葉の清掃等の管理が大変だと感じた。

その他多数のご意見をいただきました。



都筑中央公園

活動の説明を聞きました。



今年度全面オープンした面積18.9haの総合公園です。市営地下鉄センター南駅から5分くらいのところにあります。

地元の方が運営組織を作り、活発な活動をされています。

~~都筑中央公園で出された主な意見~~

実際に動き出してからの人との関係をいかにまとめていくかの重要性を感じた。

活動への参加率の良い人達が中心となって、運営管理を決めていく方法は良いと感じた。都筑区が開催したボランティア養成講座は有意義で、東横線の場合もぜひ、学習会が必要。

市民参加の取り入れ方法も重要だと感じた。その他多数のご意見をいただきました。



12月9日(火)開催の第3回検討会の様子は、次号の散歩道づくり通信でお知らせいたします。